

第 18 期 pES club step4 大会薬学生シナリオ

令和元年 6 月 30 日

横浜市立市民病院 薬剤部

五十嵐 俊

JCHO 東京城東病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは 150 床の大納目戸病院に勤務する 2 年目の薬剤師です。具流伽権さん (37 歳男性) は、血糖コントロール不良のため糖毒性の解除、薬剤調整、教育目的に入院しました。

27 歳頃から職場の検診で高血糖 (糖尿病) を指摘され、5 年前から定期通院をしています。身長 170 cm, 体重 82 kg, 入院時血圧は 136/76 mmHg で、入院時の採血では、空腹時血糖 238 mg/dL, HbA1c 9.8%, HDL-C 42 mg/dL, LDL-C 116 mg/dL, 尿酸 6.8 mg/dL でした。細小血管障害はなく、心血管疾患の既往もありません。

職業は SE, プログラマーです。生活が不規則なこともあり、食事、運動の指導を遵守することが難しいようです。教育入院は今回が 3 度目です。糖尿病性ケトアシドーシスにより救急搬送されたことも 1 度あります。

今週末に退院を控えた具流伽さんに、トルリシティ®皮下注 0.75mg アテオス®が処方追加となりました。

処方 (トルリシティ追加前)

メトホルミン錠 (250mg)	2 錠	1 日 3 回	毎食後
シタグリプチンリン錠 (25mg)	2 錠	1 日 1 回	朝食後
ボグリボース錠 (0.2mg)	1 錠	1 日 3 回	毎食直前
オルメサルタン錠 (20mg)	2 錠	1 日 1 回	朝食後
ロスバスタチン錠 (2.5mg)	2 錠	1 日 1 回	朝食後
フェブキシostat (20mg)	1 錠	1 日 1 回	朝食後
スボレキサント錠 (20mg)	1 錠	1 日 1 回	就寝前

具流伽さんに対して薬剤指導、自己注射の指導を行ってください (10 分)。